

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- 平成28年度厚真町教育委員会表彰
- 厚真町メディア教育講演会
- ハロウィンパーティ
- 始めよう！コミュニティスクール
- ノーゲームデー定着に向けて
- 平成28年度厚真町成人式案内
- 歳末チャリティ演芸大会案内
- 放課後子ども教室活動紹介

## 平成28年度厚真町教育委員会表彰

### 藤本昭子さんに表彰状、山野下明音さんに栄誉賞



教育委員と写真に納まる（下段左2番目から）山野下さんの母親と藤本さん

10月26日、青少年センターで平成28年度厚真町教育委員会表彰式が行われ、2人に感謝状と栄誉賞が佐藤教育委員長から手渡されました。

感謝状を授与されたのは、平成17年4月から厚真町婦人団体協議会会長として11年余にわたり明るい地域づくりに貢献された藤本昭子さん（新町）。また、栄誉賞には、今年8月に千葉県で開催された全国名流吟剣詩舞大会幼少の部で優勝した山野下明音さん（本郷・厚真中2年）の2人。

佐藤委員長や教育委員から2人に感謝とねぎらいの言葉が贈られていました。

## 体温を感じる子育てを

10月30日（日）、厚真町総合福祉センターで「厚真町メディア教育講演会」が、およそ100名の参加者のもと開催されました。小児科医の内海裕美先生が、電子メディアの乳幼児に与える影響や子育ての在り方などについて講演されました。講演では、子どもが健康で明るく人生を全うするためには、睡眠、食事、遊び、愛着形成の4つが大切であることを話していました。

また、地域で読み聞かせをしている内海先生が、講演の最後に、「おこだてませんように」という絵本を紹介し、「ほめて育てる」ことの大切さを強調していました。

第2部では、「子ども教育委員会活動発表」が行われ、厚南中学校2年、生徒会会長の吉岡珀和君と厚真中央小学校6年、児童会副会長の木村美友さんの二人が、町内小中学校の児童会や生徒会のアウトメディアの取組について発表しました。



## TRICK OR TREAT



10月28日（金）、厚真町総合福祉センターで「ハロウィンパーティ」が開催されました。町内の小学生約100名が参加したこのイベントは、厚真町のALTであるエレンさん、ジェイクさんを中心に企画されました。当日は近郊から15人以上の外国人ボランティアが駆け付け、会場を盛り上げました。



←エレン先生と一緒にダンス♪

→みんなで輪になってミニゲーム！



# 始めよう！コミュニティ・スクール～地域とともにある学校を目指して

NO. 3

CS 豆知識

【先進地視察 上土幌町教育委員会】

【地域学校協働活動とコミュニティ・スクール】

9月の浦幌町視察に続き、同じく先進地である上土幌町教育委員会へ行ってきました。

上土幌町は、『上土幌町子ども教育ビジョン』を策定し、子育て・教育の充実によるまちづくりに取り組んでいます。CSは、それを具現化するための手段の一つとして、『幼児から中学生まで一貫性のある教育づくり』『地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくり』を理念に、今年度から導入されました。上土幌町は教育に関わる人材が豊かで、小学校には音楽、体育のTT教諭、地域連携の専任コーディネーターが配置されています。

また、学校のニーズに応えるための『ゆめ育応援団』があり、35の企業、団体や地域住民が登録し、学校とともに教育活動に取り組んでいます。

上土幌町の『ゆめ育応援団』のように、地域と学校の連携・協働のもと、幅広い地域住民等が参画し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動のことを『地域学校協働活動』と呼んでいます。

学校の体験学習、ボランティア活動、郷土学習、環境整備など、学校と協働して教育活動を支えていく『地域学校協働活動』は『学校運営協議会』との両輪でCSを盛り上げていくものになります。

厚真町でも、すでに『学校支援地域本部』として、環境整備、読み聞かせ、合唱などの学習活動に、たくさんの地域の皆さんに参画していただいています。

## ノーゲームデー定着に向けて 向上運動 推進中！

児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動の今年度の重点項目として、今年6月から、児童生徒の「ノーゲームデー」の取組が始まりました。ノーゲームデーとは、「毎月、第1、第3日曜日に大人も子どももゲームをお休みして、家族の団らんを大切に、体験活動や読書活動に親しみましょう。」というものです。

子ども教育委員会の小学校のアウトメディア宣言では「『メディアをやめられない病』に負けないで、先に勉強するルールを作ろう！」とあります。

ノーゲームに成功した割合はまだまだ低いと言えますが、回を追うごとに成功率が伸びています。一人でも多くの子どもたちが「ノーゲームデー」に挑戦し、「ゲームをしない日」を体験してほしいものです。

町内小学生（229人）のノーゲームデーの取組の様子

小学生	ノーゲームに挑戦	ノーゲームに成功	成功率 (小学生全体に対する)
6・7月	89人	53人	23%
8・9月	84人	53人	24%
10月	105人	62人	29%

町内中学生（99人）のノーゲームデーの取組の様子

中学生	ノーゲームに挑戦	ノーゲームに成功	成功率 (中学生全体に対する)
6・7月	44人	21人	21%
8・9月	67人	26人	26%
10月	86人	38人	38%



小学生・中学生ともに成功率が上昇中です！

## 平成28年度厚真町成人式

平成28年度の厚真町成人式は、49人が対象となっています。日時、場所等は次のとおりです。

◆とき 平成29年1月8日【日】  
午前11時から

◆ところ 厚真町総合福祉センター

◆対象者

平成8年4月2日から平成9年4月1日の間に出生し、本町に住民票を置いている方及び本人が町外へ転出していても、保護者等が本町に在住している方。

◆案内状の発送・出欠について

対象となる方には、11月末頃にご自宅(ご家族)宛に案内状を送付します。出欠は案内状に同封の返信用はがきに記入のうえ、12月9日【金】までに返送ください。

ご本人が町内に不在の場合は、ご家族の方がご本人と連絡をとっていただき、返送をお願いします。

対象となっている方で、案内状の届いていない方は下記宛にご連絡ください。

◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495



## スケートリンクのオープンについて

毎年ご利用いただいております町民スケートリンクは、来月オープンの予定です。今年も多くの皆様のご利用をお待ちしております。

◆利用期間

平成28年12月25日【日】〔予定〕から  
平成29年 2月28日【火】まで

◆利用時間

午前9時から午後8時

※12月31日は

午前9時～正午まで

※1月1・2・3日は

午後1時～午後4時まで

※天候や気温等により利用期間が変更になる場合もあります。

※利用時間内に除雪・散水等の作業を行う場合があります。その際は、滑走を中止し、作業にご協力をお願いします。



◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ  
☎27-3775(スポーツセンター)



## 10月定例教育委員会

10月26日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

◆教育長報告

平成29年度教職員当初人事など(3件)

◆報告事項

JA とまこまい広域農協から学校給食センターに新米「ななつぼし」50kg寄贈、学校運営設立準備委員会先進地視察など(10件)

◆その他

平成28年度教育委員学校訪問について

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

## 歳末助け合いチャリティ演芸大会

厚真町婦人団体協議会では、「第40回歳末助け合いチャリティ演芸大会」を開催します。今年は21組、約100名の皆さんが歌や踊りなどを披露します。入場には1口300円の募金券を購入していただきますが、収益は社会福祉協議会に寄付されます。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。



◆とき 12月1日【木】12時開演

◆ところ 厚真町総合福祉センター 大集会室

◆入場料 1口300円の入場券(募金券)を購入の上、入場してください。入場券は当日会場でご購入いただけます。

◆問合せ 教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

## 年末年始の予定

年末年始の教育委員会所管各施設の閉館等の日程は、以下のとおりを予定しています。

◆青少年センター・創作館

12月31日【土】～1月5日【木】閉館

◆スポーツセンター・スタードーム

12月31日【土】～1月5日【木】閉館

今年も皆様のご利用ありがとうございました



# 図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

## 図書フェスティバル ご参加ありがとうございました

11月3日、厚真町文化祭が行われました。図書室では青少年センターにて「しかけ絵本の世界」展、ワークショップ「絵本をつくろう」を開催しました。

しかけ絵本展は厚真町には所蔵が無いしかけ絵本を約30冊、北海道立図書館から借り受け、手に取れるように並べ展示しました。



しかけ絵本展示



先生のお話を聞きます



上手にできたかな

青少年センターの2階では、初めての企画「絵本をつくろう」を開催しました。講師には北海道ブックシェアリングの荒井代表をお招きしました。

「お話から絵本を作る」ことに最初は戸惑っていた子どもたちでしたが、荒井さんから説明を受けて絵本作りに取りかかると、途中で投げ出すことなく完成させることができました。完成した絵本は荒井さんがほめてくれるので、みんな競って見せにいきました。

人形劇や読み聞かせと違い、参加型のイベントでどうなるかと思いましたが、心配は無用でした。紙を渡されて、すぐ制作に取りかかることができたのは、家庭や保育園・学校などでお話に慣れ親しんでいるからではないでしょうか。今回参加してくれた皆さんありがとうございました。次回も楽しんでもらえる企画を考えたいと思います。

### 青少年センターからの お知らせ

## ～夜間プラネタリウム投映会～ 冬の星座を探そう

と き 12月16日(金) 午後6時30分

※晴天の場合は引き続き天文台で観望会を開催。

月・金星・火星などを観察できます。

ところ 青少年センター2階プラネタリウム室・天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

問合せ 教育委員会社会教育グループ TEL 27-2495



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

# 新着図書紹介

<p><b>一般書</b></p> <p>『遠い唇』 北村 薫/著</p>  <p>“日常の謎解き”物語の巨匠が書いた、7つの短編からなる1冊です。暗号解読が鍵になっていて、あの時、先輩の暗号が解けていれば…という切ないお話や、クスッと笑えるお話がはいっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仰げば尊し 　　いずみ 吉弘/著</li> <li>・ 怪盗探偵山猫5 　　神永 学/著</li> <li>・ 恋の Gondola 　　東野 圭吾/著</li> </ul>	<p><b>児童書</b></p> <p>『魔女学校物語 3 友だちのひみつ』 石崎 洋司/作</p>  <p>王立魔女学校の出前授業で来てくれた先生は火の国 No.1 パティシエ！でもティアーの様子がなんだかおかしい。遠足に行ったり、新しい呪文を考えたり、大忙しの魔女学校の生活が楽しくわかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どででんかぼちゃ 　　いわさゆうこ/作</li> <li>・ おにぼう 　　くすのき しげのり/作</li> <li>・ しゅくだいとびばこ 　　福田 岩緒/作</li> </ul>
<p><b>実用書</b></p> <p>『“筋力アップ”で健康』 石井 直方/総監修</p>  <p>冬になると家の中にもこもりがちになりませんか？運動不足の体は、とっさの動きができなくて思わぬ怪我につながります。</p> <p>1週間に2日の運動をして体力・筋力アップにはげみましょう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「スマホ首」が自律神経を壊す 松井 孝嘉/著</li> <li>・ 脱初級スノーボード上達テクニック</li> <li>・ 俳句・川柳・短歌の練習帳 坊城 俊樹/監修</li> </ul>	<p><b>絵本</b></p> <p>『たまちゃんとあかちゃん』 どい かや/作</p>  <p>たまちゃんのおうちにあかちゃんがやってきました。あかちゃんはなくし、みみをひっぱるし大変です。でも、たまちゃんはおねえさんなのでがまんがまん。優しいタッチのかわいらしい絵本です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ でてくるでてくる 　　岩田 明子/作</li> <li>・ くうちゃんのホットケーキ 　　わたなべゆうこ/作・絵</li> <li>・ わたしのそばできいていて 　　パップ/作</li> </ul>

## ～図書室からのお知らせ～

- 12月の休館日  
23日（金） 天皇誕生日  
31～1月5日 年末年始のため休館
- 青少年センター図書室開館時間  
午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）  
午前9時から午後7時（火・木）
- 厚南会館図書室  
午前9時から午後5時（月～日）  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

- 12月の移動図書  
上厚真小学校  
午前10時10分～25分  
2、9、16日【金】 21日【水】
- ともいき荘  
14日【水】 午後2時00分～2時30分
- 絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子  
場所：青少年センター 2階ロビー  
15日【木】 午前10時30分～11時

# ☆放課後子ども教室☆

初雪の便りも届き、今年も冬の入り口に立ちました。長い冬が始まると思うと、少しばかり気持ちが重たくなりますが、それでも雪の降り初めは子どものころと変わらずワクワクしてしまうのです。今年子どもたちと雪遊びがたくさんできるといいな、と思っています。

11月に入っても、活動の中盤になると半そで姿になっている子どもたち。寒くはないのか、風邪をひかないかとやきもきする大人の心配をよそに、「暑いから大丈夫！」と返事が返ってくるばかりです。春から夏にかけて少しずつできてきた子どもたち同士の関係性。お互いの性格や興味関心の向き方などが見えてきた最近では、次のステップとしてチームで何かをするというプログラムを増やしています。チーム対抗のスポーツはもちろん、レクリエーションゲームでも仲間と協力するという場面をつくっています。ときにはケンカをすることもありますが、それぞれの得意・不得意を考慮しながら役割分担をする姿も見られました。

中央小学校の活動日に防災に関するプログラムを行いました（上厚真小は12月のプログラムで実施する予定です）。役場総務課との共同プログラムで、厚真町の防災アドバイザーである定池祐季先生の参加もいただきました。自然災害にあったとき、避難所で生活をしなければならなくなったとき、それら“もしもの時”を想定しておくことの大切さを学び、災害時に役立つ新聞紙スリッパの作り方を教わりました。テープやのりがなくても簡単に作ることができ、裸足でいるよりも足が保温されます。他分野の人たちと協力し合えば、こうした新しいプログラムを子どもたちに届けることができるんだということを実感した一日でした。



平日の活動のほか、特別教室も開催しました。10月にはあつま新鮮組が主催する『あつま特産市』にて、子どもたちが特産品の販売をお手伝いし、町のPR活動を一緒に行いました。最初は小さかった声も、次第に自信のある大きな声に変わって、お客さんを呼び込む立派な戦力となっていたと思います。11月には食育プログラムとして、厚真産の素材を使ったピザづくり体験を、町の環境保全林で実施しました。とまこまい広域農協青年部の部員さんにご協力をいただき、ご自宅で備蓄してあった野菜をわけてもらい、ピザづくりに挑戦。その日は積もるぐらいの雪が降った日で、子どもたちはピザづくりと雪遊びの両方を楽しめる一日となりました。たくさん遊んで、地元食材を使ったおやつをみんなで食べる。決して派手なイベントでもなく素朴な活動ですが、子どもたちにとってはとても大切な体験だと思います。こうした温かな時間をこれからも子どもたちと過ごしていきたいです。

